

第 37 回 浜薬研究交流セミナー

下記によりセミナーを開催しますので、多数御来聴下さい。

記

日 時： 令和元年 11 月 30 日（土） 13:15 ～ 14:45

場 所： 横浜薬科大学 研究棟 2 階 F21 多目的講義室

演 者： 飯田 理文 先生

中外製薬株式会社 臨床薬理部 臨床薬理解析グループ

演 題： 医薬品の用法・用量の決定と臨床薬理

要 旨： 新薬の開発には膨大なコストと長い時間を要することは周知の事実です。しかし、近年になって開発の成功率が低下し、より一層のコスト増大を招き、その結果として製薬業界から保険財政に至るまでの財政を圧迫しているのが現状です。成功率の低下については様々な原因があり、それぞれの解決策が講じられていますが、その解決策の一つとして Modeling and Simulation (M&S) の活用が提唱されており、臨床薬理分野がカバーしています。

そこで今回は臨床薬理の立場からM&Sの基本的な考え方に加えて、新薬の用法・用量の設定に焦点をあてて、新薬開発の各段階におけるM&Sの利用方法と実例についてお話しさせていただくとともに、議論できればと思います。

連絡先： 臨床薬理学研究室・大学院臨床薬学分野・教授
浜薬研究会WG・動態薬剤系分野委員

千葉 康司（内線 7059）

*本セミナーは大学院「薬科学大学院特別講義」、
「臨床薬学大学院特別講義」との共催となります